

暇を持て余した或る貴族たちの戯び

For adult only

mechí

もくじ

【1】	はじまり	
【2】	4月の2週目	
【3】	4月の3週目	
【4】	5月	
【5】	5月下旬のある夜	
【6】	6月の2週目 オペラの夜 1	
【7】	6月の2週目 オペラの夜 2	
【8】	6月の3週目 祝賀会の夜	
【9】	6月の3週目 祝賀会の翌日	
【10】	6月の4週目 ロンドンを発つ日	

93 87 80 72 60 34 28 18 7 4

このたびは、当同人誌を

お手にとっていただき、誠にありがとうございました。

お手に取って読みたいと思っていただき、ありがたく思います。

この本は、2021年に発行した同人誌を受注頒布用に整えたものです。

お楽しみいただけましたら幸いです。

登場人物

デイヴィッド・ジョンソン…プレイボーイのスコットランド貴族、30代半ば

マイケル・エヴァンズ公爵…人たらしのイングリッド貴族、デイヴィッドより少し歳上、妻帯者
ヘレン・プライス…女優、デイヴィッドが一目惚れした理想の女性

マシュー…デイヴィッドの執事

ベス…パブ「コーチ&ホーシーズ」の給仕

クララ…オセロに出演した女優

これは、かの名探偵シャーロック・ホームズが、スイスのライヘンバッハで消息不明になったというニュースがロンドンを騒がせていた頃のこと。
暇を持て余したある貴族達の、小さな物語である。

【一】 はじまり

社交界の花を意のままに狩っていく僕は、ハンター(狩人)の通り名で知られている。僕の所業に眉をひそめる者もいるが、伝統と格式を重んじる界限において、僕の申し分ない身分が彼らの目をつむらせている。

僕はスコットランドの由緒ある旧家の出で、グラスゴー大学で経済学を修めた。僕の型破りな性質は両親の悩みの種だったが、嫡子ではないからと放任されたのは僕が大学に上がる前のことだ。家業は地元の造船と貿易を仕切っていて、大学卒業後、貿易業のいくつかの事業を任されて今に至る。

ビジネスを口実に年の半分以上は国外で過ごす。世界は広く、出会いは無限だ。第一、狭くて堅苦しい本国のカビ臭い社交界は、僕には息苦しすぎて長居はあまりしたくない。

そろそろ30半ばになるが、ここまで未婚だ。結婚に興味がないが、伴侶を選ぶことは難しい。なぜなら、世界には素敵な女性が星の数ほどいて、僕はまだ理想の女性に出会えていないのだから。

つまり、僕の多少の節操のなさなど約束された将来を鑑みれば些事に過ぎず、何より僕の奔放な生き様に魅せられ、「彼はああいう者なのだ」と一目を置いていた者のほうが多いはずだ。

うぬぼれてるって？まあ実際うぬぼれてる。僕はこれまで仕事も恋もうまくやってきたし、このところ執事のマシユの持病が悪化して、頻繁に休養を出さなきゃいけなくなったことを除けば順風満帆だ。

実際、僕が概ね思うがままに女性と関係を結べるのは、